



多様な市民参加を進めながら

第4次基本計画を策定します

市では、現行の第3次基本計画が平成22年度で期間満了となるため、次期の基本計画となる第4次基本計画の策定の方針を定めました。

この方針は、「広報みたか」(2月7日号)でお知らせした「三鷹まちづくり総合研究所」の提言が反映されており、第4次基本計画のあり方とともに、平成22年度から23年度にかけて取り組みを行う市民参加の進め方を定めたものです。

第4次基本計画の策定では、自治基本条例による各種の自治・分権の制度や仕組みを最大限に活かしながら、市民参加による計画づくりを進めていきます。

☎企画経営室 ☎内線2112



◆第4次基本計画策定の基本的な方針

- まちづくり総合研究所の提言をもとに、市の方針を策定しました。
- 多様な市民参加により、第4次基本計画の策定とともに20を超える個別計画の改定にも取り組みます。

1. まちづくり総合研究所の提言から

市では昨年の7月に「三鷹まちづくり総合研究所」を三鷹ネットワーク大学と共同で設置し、同研究所に「第4次基本計画と市民参加のあり方に関する研究会(座長・中村陽一立教大学教授)」を置き、検討を進めてきました(写真)。研究会では、住民協議会、みたか市民協働ネットワーク、まちディスみたかなど、関係市民団体とのヒアリングや意見交換も行って、提言を市長へ提出していました。



この提言なども踏まえて、このほど策定した「第4次基本計画及び個別計画の策定等に関する基本方針」では、基本計画のあり方とともに、平成22年度から23年度にかけて取り組みを行う市民参加の進め方を定めました。

2. 多様な市民参加による計画づくり

市民参加の取り組みとして、各分野ごとの施策課題については、平成22年度から23年度にかけて各種の市民会議・審議会や団体・グループによるディスカッションなどで検討を進めます。

また、まちづくりや福祉・教育など施策分野ごとに定める多くの個別計画についても、第3次基本計画とともに計画期間が満了するため、第4次基本計画の策定と連動して、20を超える個別計画の改定や策定にも取り組みます。

さらに、地域課題の検討については、平成22年度は各コミュニティ住区でフィールドワーク(まちあるき)やワークショップを実施します。

三鷹市の計画行政

市では平成13年に、最上位計画である基本構想(計画期間15年)と、基本構想の目標を実現するための第3次基本計画(同10年)を定めています。また、福祉やまちづくり・教育などの分野別の個別計画も策定しており、多くの個別計画が目標年次を第3次基本計画と合わせて平成22年度としています。

基本計画とは

市の基本理念・基本目標を定めた「三鷹市基本構想」の実現に向け、市の基本的な行財政運営の指針として、取り組む施策の基本的な考え方、体系、主要事業の目標や実施時期などを定めています。

市民参加の具体的な取り組みについては、2面でご案内します。



真新しいユニフォームを手にする第1回中学生「東京駅伝」大会の選手代表とともに

三鷹市長メールマガジン

市長のメッセージ、活動記録、部課長コラム、新着情報などをお届けします。登録は、三鷹市ホームページまたは携帯サイトからどうぞ。



中学生「東京駅伝」大会での三鷹代表選手の健闘を、ご一緒に応援しましょう。

私は、このような子どもたちとの出会いを通して、その活動を支える子どもたち自身の「考える力」と、仲間と共に活動する「行動力」に頼もしさを感じています。

また、同じ日の朝、私は東三鷹学園三鷹市立第一小学校の朝会を訪問し、三鷹子ども憲章に基づき同学園の活動に対して市長表彰を行いました。憲章に掲げる目標の一つである「みんなが活躍する三鷹の未来」に関する学園の取り組みを評価し、第六中学校生徒会、第一小学校・北野小学校児童会の代表に賞状と盾を贈りました(12面記事参照)。

選手代表には、黄色の地に紫でくっきりと「三鷹」の文字が書かれたユニフォームを手渡しました。選手は、最後まであきらめないで走りたい「市民に夢と希望と感動を与えられるように走りたい」「誇りあるアンカーを務めたい」「補員だけれど、頑張りたい」など、元気に決意表明をしてくれました。

また、同じ日の朝、私は東三鷹学園三鷹市立第一小学校の朝会を訪問し、三鷹子ども憲章に基づき同学園の活動に対して市長表彰を行いました。憲章に掲げる目標の一つである「みんなが活躍する三鷹の未来」に関する学園の取り組みを評価し、第六中学校生徒会、第一小学校・北野小学校児童会の代表に賞状と盾を贈りました(12面記事参照)。

三鷹市では、男女別の約2・5kmのタイムトライアルにより選ばれた男子17名、女子16名の選手に補員を加えた選手が合同して練習を進めてきたということで、通う学校は違っても、選手からは力強いチームワークを感じました。

選手代表には、黄色の地に紫でくっきりと「三鷹」の文字が書かれたユニフォームを手渡しました。選手は、最後まであきらめないで走りたい「市民に夢と希望と感動を与えられるように走りたい」「誇りあるアンカーを務めたい」「補員だけれど、頑張りたい」など、元気に決意表明をしてくれました。

市長コラム

三鷹市長 清原慶子

子どもたちの活動が
もたらす感動

3月15日夕方、第1回中学生「東京駅伝」大会に参加する三鷹市の選手代表が訪問してくれました(写真)。この大会は、東京都教育委員会主催で、中学生の健康増進、持久力などの体力向上、スポーツ振興と生徒の競技力向上を目的として、3月21日に開催されるものです。